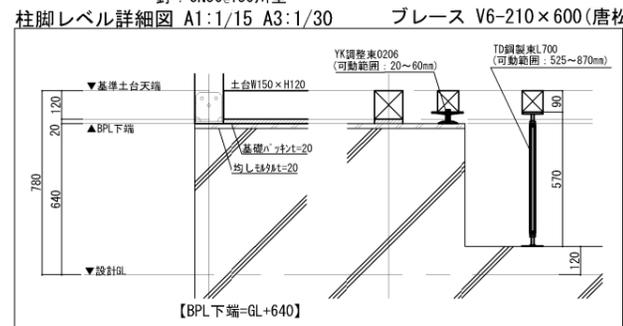


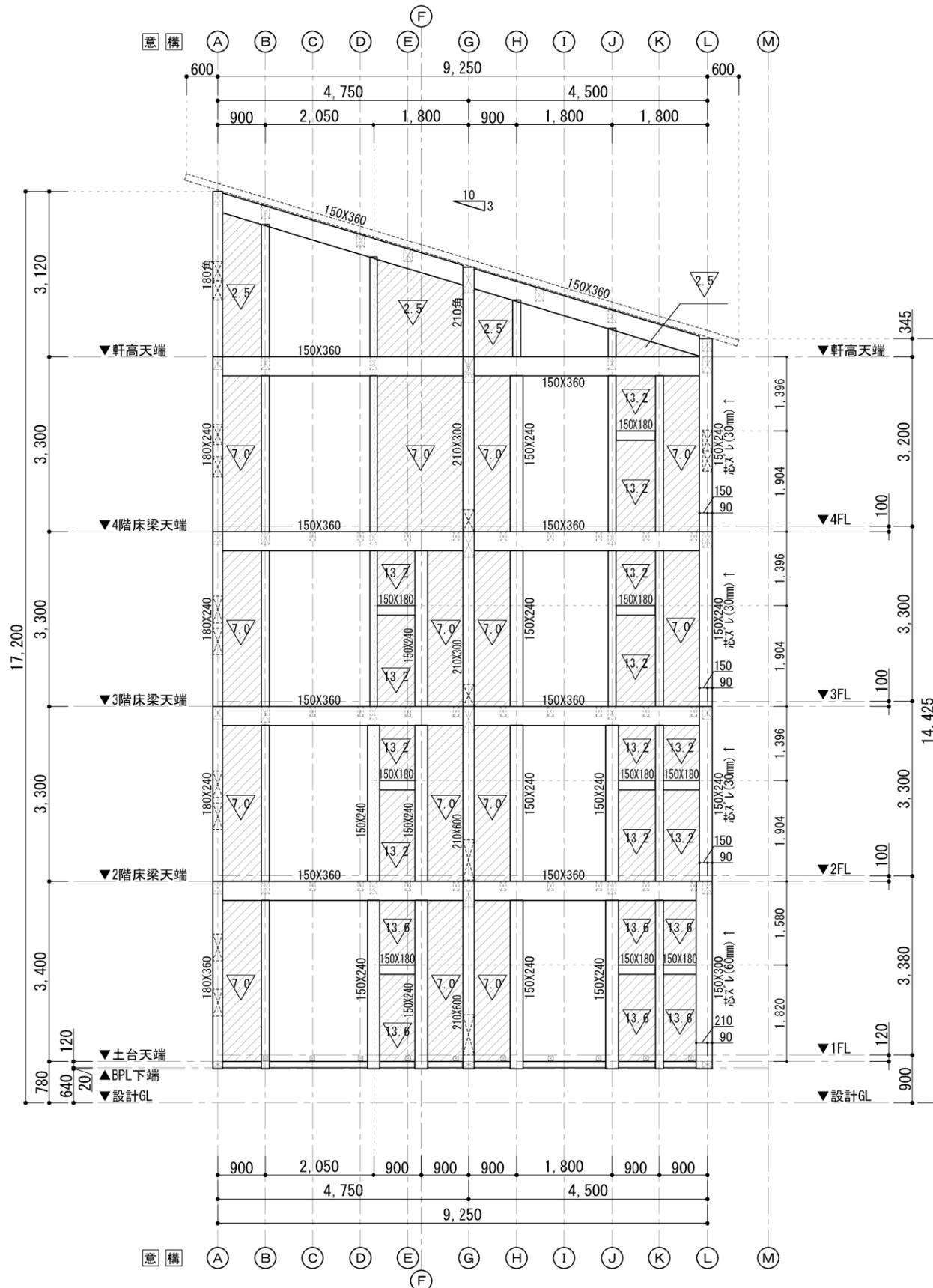
構造軸組図 (10通り)

耐力壁凡例	は耐力壁位置を示す					
凡例	壁倍率	各面の仕様		面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
1F ▽3.9	13.6倍	<大壁側> 6.77倍	<大壁側> 6.60倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
1F ▽2.5	12.5倍	<大壁側> 6.77倍	<大壁側> 6.09倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
1F ▽10.0	10.1倍	<大壁側> 6.25倍	<大壁側> 6.09倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
1F ▽9.1	9.1倍	<大壁側> 5.80倍	<大壁側> 5.66倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽7.0	7.0倍	<大壁側> 3.7倍	<大壁側> 3.3倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽6.6	6.6倍	<大壁側> 3.3倍	<大壁側> 3.3倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽5.0	5.0倍	<大壁側> 2.5倍	<大壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽5.0	5.0倍	<大壁側> 2.5倍	<大壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽2.5	2.5倍	<大壁側> 2.5倍	<大壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽2.5	2.5倍	<大壁側> 2.5倍	<大壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	

※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上 釘N75@200mm以下留めとする。
 ※すべての仕様は床勝・壁勝どちらにも対応可とする。

- 1F階高：3400.0
 - 2F階高：3300.0
 - 3F階高：3300.0
 - 4F階高：3300.0
- 1時間耐火
- 壁合板 910×1820×12mm
- 基礎ハックン 厚さ20mm
- 小梁タイプ
- 床合板 910×1820×24mm
 釘：N75@150川型
 釘：CN75@150日型、N75@150川型
- 野合合板 910×1820×12mm
 釘：CN50@150川型
- KES120仕様
- 指定なき土台はW150×H120 (桧製材)
- 指定なき大引は90×90@900 (桧製材)
- 指定なき柱・小屋束は150×150 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- 指定なき平柱の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
- 指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
- 垂木は45×120@303.33 (杉製材)
- クハ 垂木45×120は軒先から@303.33 (杉製材)
- クハ 補強材は2-45×120 (杉製材)
- 3寸勾配はクハハックン有り
- ブレース V1-180×180 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V2-180×240 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V3-180×300 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V4-210×210 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V5-210×480 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V6-210×600 (唐松集成材対称異等級E95-F270)





構造軸組図 (23通り)

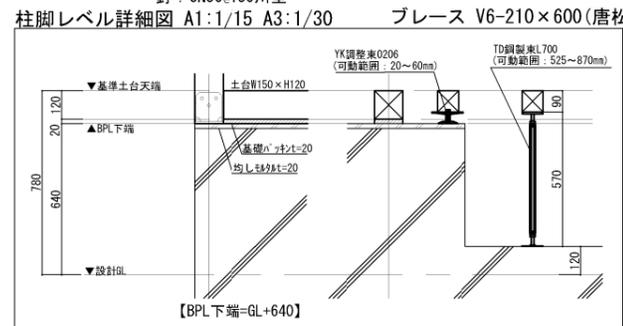
耐力壁凡例		は耐力壁位置を示す			
凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
1F ▽3.8	13.6倍	<大壁側> 6.77倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	構造用合板 12mm
1F ▽2.5	12.5倍	<大壁側> 6.77倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	構造用合板 12mm
1F ▽10.1	10.1倍	<大壁側> 6.25倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	構造用合板 12mm
1F ▽9.1	9.1倍	<大壁側> 5.80倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	構造用合板 12mm
7.0	7.0倍	<大壁側> 3.7倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	構造用合板 12mm
6.6	6.6倍	<真壁側> 3.3倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	構造用合板 12mm
5.0	5.0倍	<大壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	構造用合板 12mm
5.0	5.0倍	<真壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	構造用合板 12mm
2.5	2.5倍	<大壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	構造用合板 12mm
2.5	2.5倍	<真壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	構造用合板 12mm

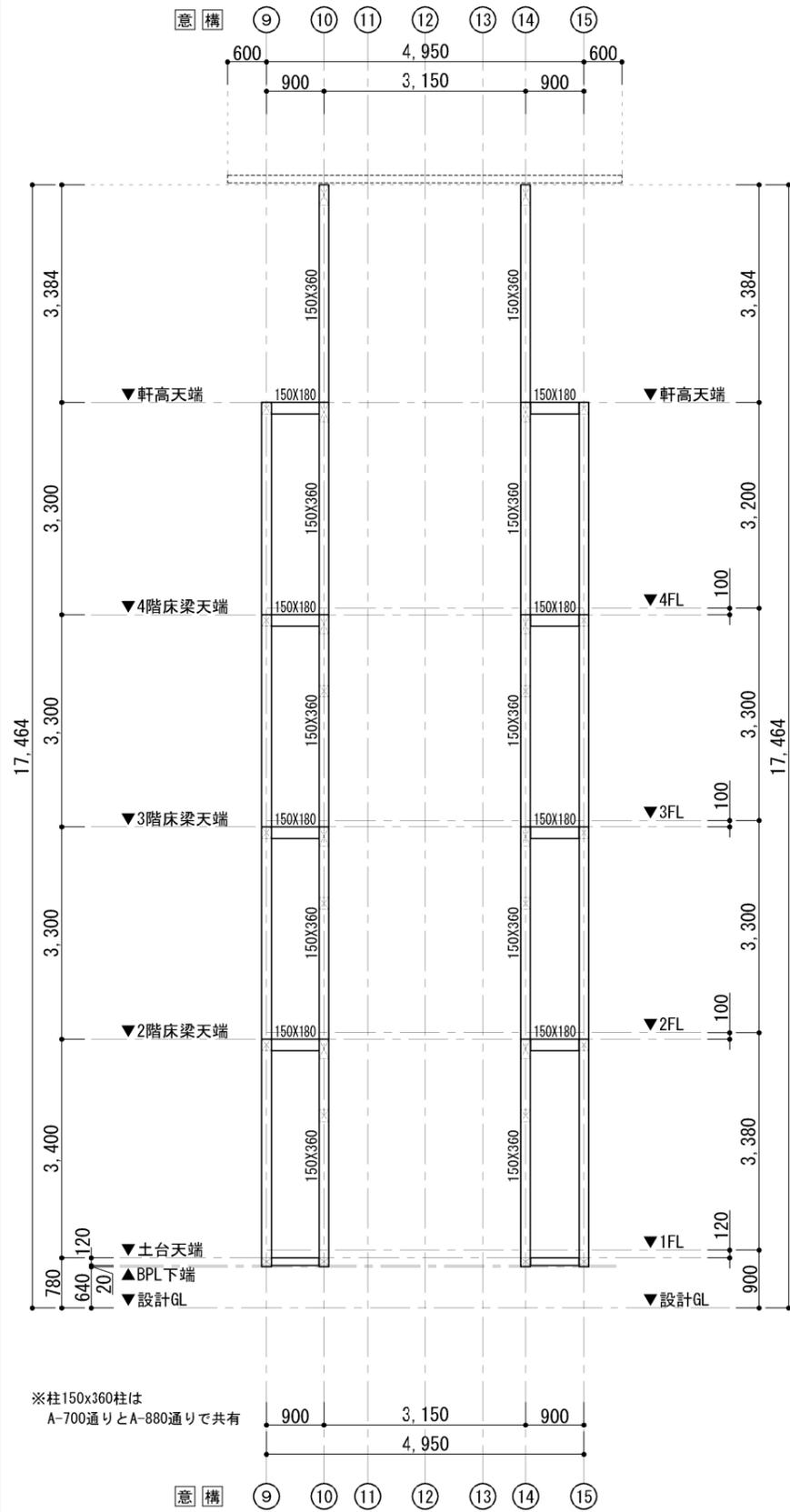
※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上 釘N75@200mm以下留めとする。
 ※すべての仕様は床勝・壁勝どちらでも対応可とする。

- 1F階高：3400.0
- 2F階高：3300.0
- 3F階高：3300.0
- 4F階高：3300.0

- 1時間耐火
- 壁合板 910×1820×12mm
- 基礎ハッキング 厚さ20mm
- 小梁タイプ
- 床合板 910×1820×24mm
釘：N75@150川型
- 野地合板 910×1820×12mm
釘：CN50@150川型

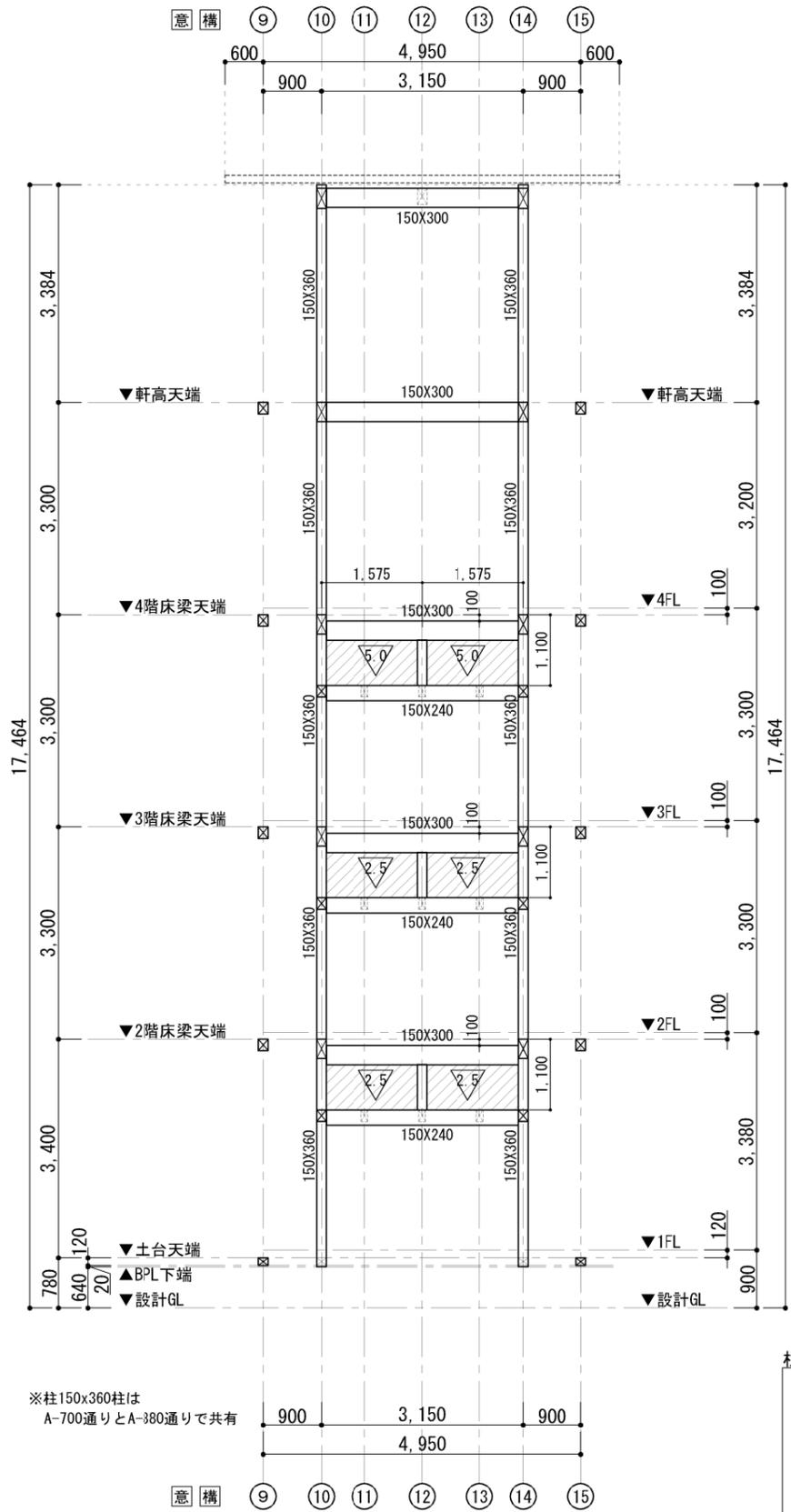
- KES120仕様
- 指定なき土台はW150×H120 (桧製材)
- 指定なき大引は90×90@900 (桧製材)
- 指定なき柱・小屋束は150×150 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- 指定なき平柱の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
- 指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
- 垂木は45×120@303.33 (杉製材)
- クハ 垂木45×120は軒先から@303.33 (杉製材)
- クハ 補強材は2-45×120 (杉製材)
- 3寸勾配は外ハッキング有り
- ブレース V1-180×180 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V2-180×240 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V3-180×300 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V4-210×210 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V5-210×480 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V6-210×600 (唐松集成材対称異等級E95-F270)





構造軸組図 (A-880通り)

※柱150x360柱は
A-700通りとA-880通りで共有



構造軸組図 (A-700通り)

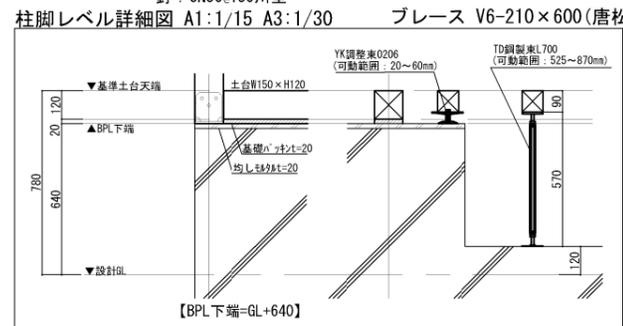
※柱150x360柱は
A-700通りとA-380通りで共有

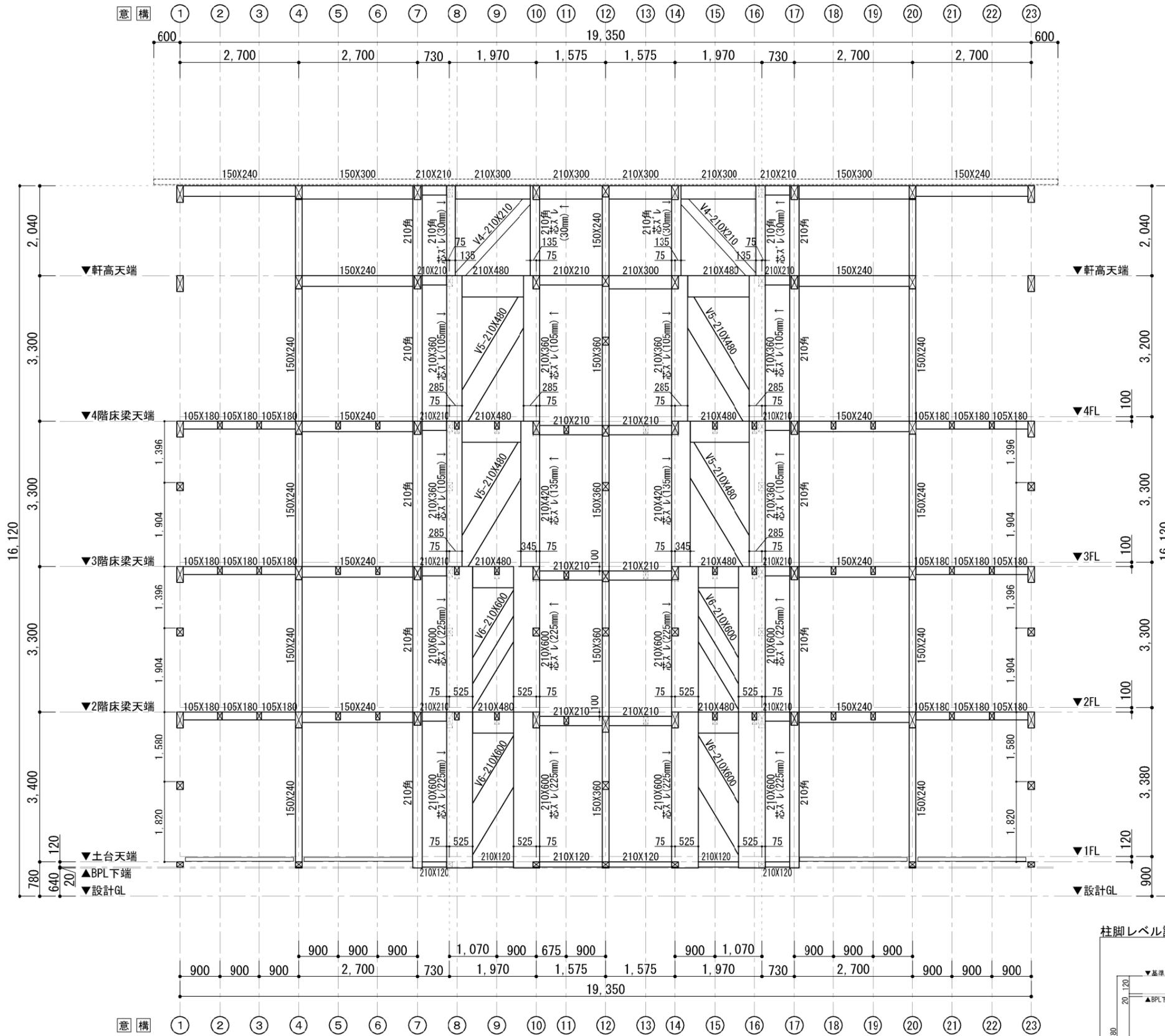
耐力壁凡例 は耐力壁位置を示す

凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
▽3.8	13.6倍	1F <大壁側> 6.77倍 1F <小壁側> 6.77倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽2.5	12.5倍	1F <大壁側> 6.25倍 1F <小壁側> 6.25倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽10.9	10.1倍	1F <大壁側> 6.77倍 1F <真壁側> 3.3倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽9.1	9.1倍	1F <大壁側> 5.80倍 1F <真壁側> 3.3倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽7.0	7.0倍	<大壁側> 3.7倍 <真壁側> 3.3倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽6.6	6.6倍	<真壁側> 3.3倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽5.0	5.0倍	<大壁側> 2.5倍 <真壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽5.0	5.0倍	<真壁側> 2.5倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽2.5	2.5倍	<大壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	
▽2.5	2.5倍	<真壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細参照	

※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上 釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床勝・壁勝どちらでも対応可とする。

- 1F階高：3400.0
2F階高：3300.0
3F階高：3300.0
4F階高：3300.0
- 1時間耐火
壁合板 910×1820×12mm
基礎ハックン 厚さ20mm
小梁タイプ
床合板 910×1820×24mm
釘：N75@150川型
釘：CN75@150日型、N75@150川型
野地合板 910×1820×12mm
釘：CN50@150川型
- KES120仕様
指定なき土台はW150×H120 (桧製材)
指定なき大引は90×90@900 (桧製材)
指定なき柱・小屋束は150×150 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
指定なき平柱の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
垂木は45×120@303.33 (杉製材)
クハ 垂木45×120は軒先から@303.33 (杉製材)
クハ 補強材は2-45×120 (杉製材)
3寸勾配は外ハックン有り
ブレース V1-180×180 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V2-180×240 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V3-180×300 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V4-210×210 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V5-210×480 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V6-210×600 (唐松集成材対称異等級E95-F270)



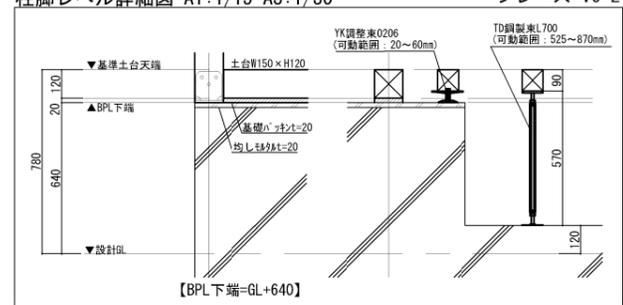


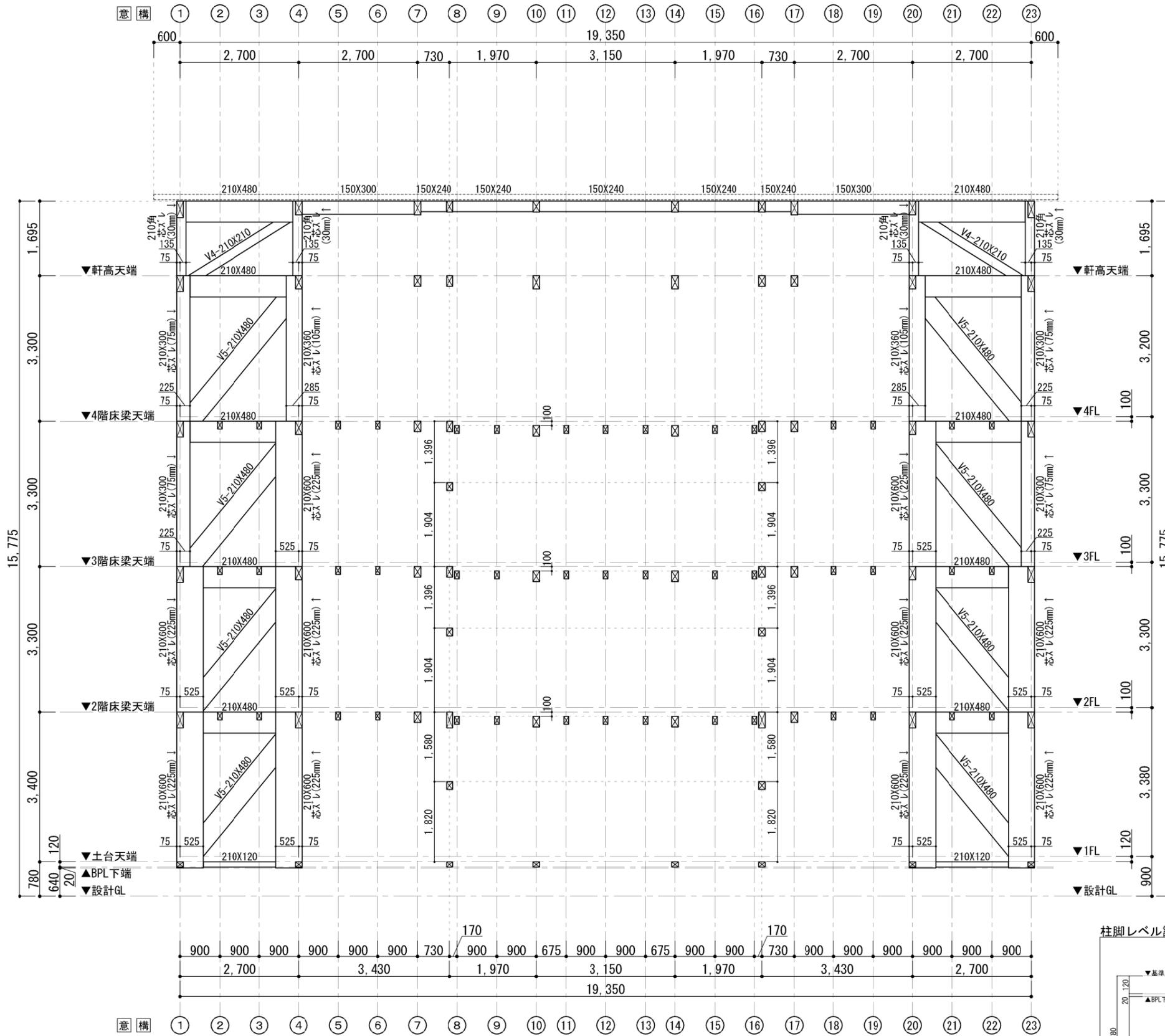
構造軸組図 (E通り)

凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
▽1.3	13.6倍	1F <大壁側> 6.77倍 1F <大壁側> 6.60倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽1.2	12.5倍	1F <大壁側> 6.09倍 1F <大壁側> 6.09倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽1.0	10.1倍	1F <大壁側> 6.77倍 1F <大壁側> 6.60倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.9	9.1倍	1F <大壁側> 5.80倍 1F <大壁側> 5.66倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.7	7.0倍	<大壁側> 3.7倍 <真壁側> 3.3倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.6	6.6倍	<真壁側> 3.3倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.5	5.0倍	<大壁側> 2.5倍 <真壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.5	5.0倍	<真壁側> 2.5倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.5	2.5倍	<大壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.5	2.5倍	<真壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	

※石膏ボードの真壁・床下の受材は厚み30mm×60mm以上 釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床・壁勝どちらにも対応とする。

- 1F階高：3400.0
 - 2F階高：3300.0
 - 3F階高：3300.0
 - 4F階高：3300.0
- 1時間耐火
- 壁合板 910×1820×12mm
- 基礎ハッキン 厚さ20mm
- 小梁タイプ
- 床合板 910×1820×24mm
釘：N75@150川型
釘：CN75@150白型、N75@150川型
- 野地合板 910×1820×12mm
釘：CN50@150川型
- KES120仕様
指定なき土台はW150×H120 (桧製材)
指定なき大引は90×90@900 (桧製材)
指定なき柱・小屋束は150×150 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
指定なき平柱の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
垂木は45×120@303.33 (杉製材)
ケラハ 垂木45×120は軒先から@303.33 (杉製材)
ケラハ 補強材は2-45×120 (杉製材)
3寸勾配は外ハッキン有り
ブレース V1-180×180 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V2-180×240 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V3-180×300 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V4-210×210 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V5-210×480 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V6-210×600 (唐松集成材対称異等級E95-F270)





構造軸組図 (G通り)

耐力壁凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
▽1.3	13.6倍	1F <大壁側> 6.77倍 1F <小壁側> 6.60倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽1.2	12.5倍	1F <大壁側> 6.09倍 1F <小壁側> 6.09倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽1.0	10.1倍	1F <大壁側> 6.77倍 1F <小壁側> 6.09倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.9	9.1倍	1F <大壁側> 5.80倍 1F <小壁側> 3.3倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.7	7.0倍	<大壁側> 3.7倍 <真壁側> 3.3倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.6	6.6倍	<真壁側> 3.3倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.5	5.0倍	<大壁側> 2.5倍 <真壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.5	5.0倍	<真壁側> 2.5倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.25	2.5倍	<大壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽0.25	2.5倍	<真壁側> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	

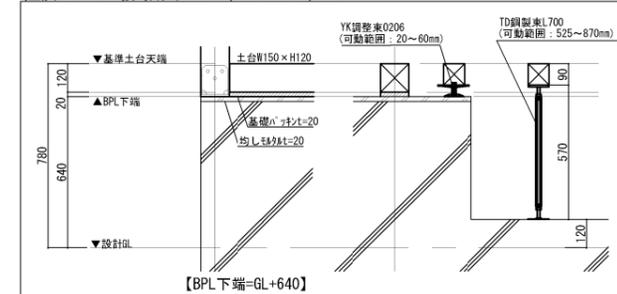
※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上 釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床勝・壁勝どちらにも対応とする。

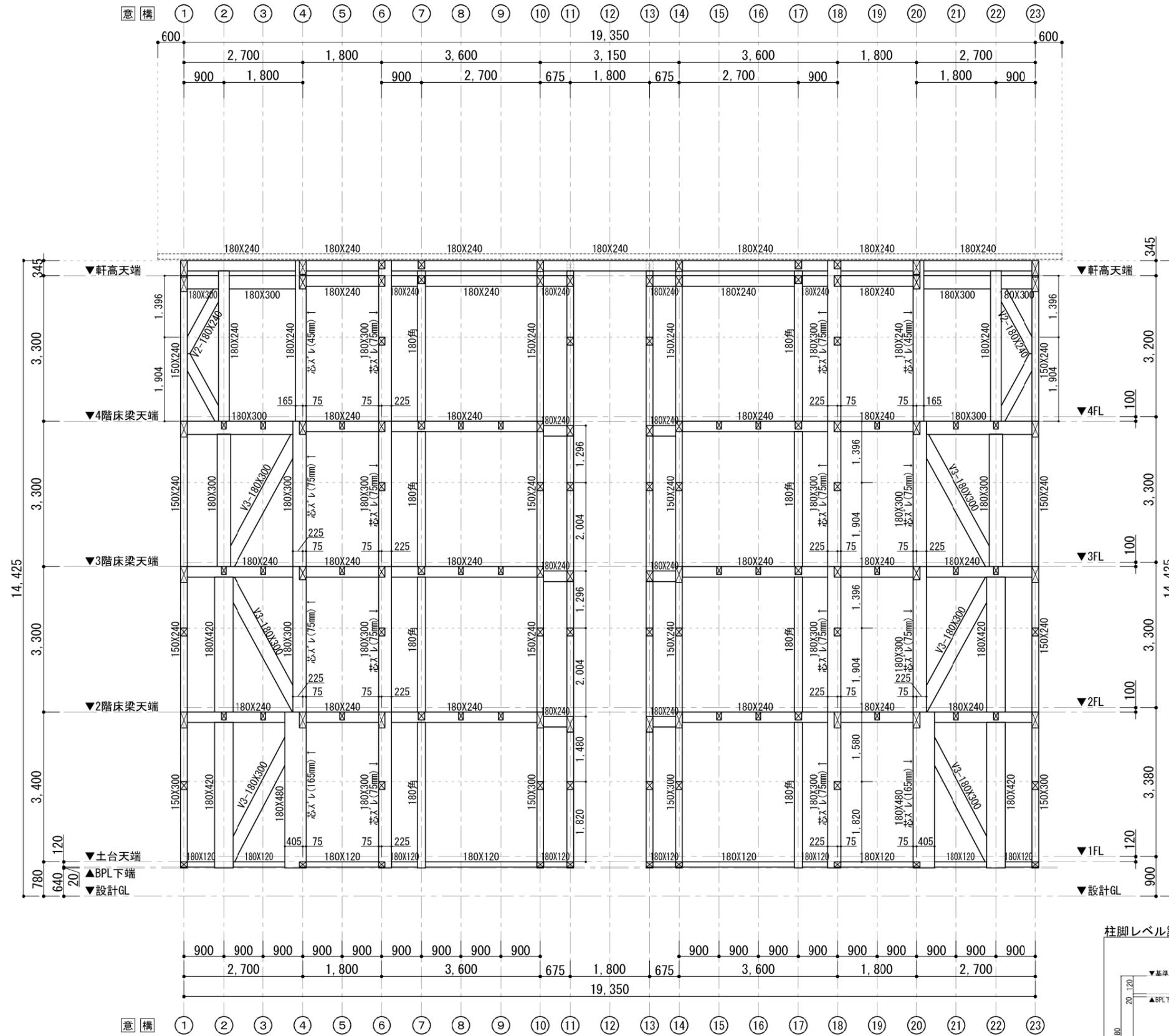
- 1F階高：3400.0
- 2F階高：3300.0
- 3F階高：3300.0
- 4F階高：3300.0

- 1時間耐火
- 壁合板 910×1820×12mm
- 基礎ハッキン 厚さ20mm
- 小梁タイプ
- 床合板 910×1820×24mm
釘：N75@150川型
釘：CN75@150日型、N75@150川型
- 野地合板 910×1820×12mm
釘：CN50@150川型

- KES120仕様
- 指定なき土台はW150×H120 (桧製材)
- 指定なき大引は90×90@900 (桧製材)
- 指定なき柱・小屋束は150×150 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- 指定なき平柱の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
- 指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
- 垂木は45×120@303.33 (杉製材)
- ケラハ垂木45×120は軒先から@303.33 (杉製材)
- ケラハ補強材は2-45×120 (杉製材)
- 3寸勾配は列ハッキン有り
- ブレース V1-180×180 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V2-180×240 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V3-180×300 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V4-210×210 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V5-210×480 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
- ブレース V6-210×600 (唐松集成材対称異等級E95-F270)

柱脚レベル詳細図 A1:1/15 A3:1/30





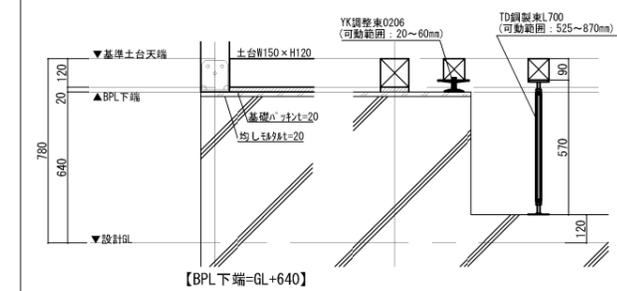
構造軸組図 (L通り)

耐力壁凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
▽1.6	13.6倍	1F <大壁部> 6.77倍 1F <大壁部> 6.60倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽2.2	12.5倍	1F <大壁部> 6.25倍 1F <大壁部> 6.09倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽10.9	10.1倍	1F <大壁部> 6.77倍 1F <大壁部> 6.09倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽9.9	9.1倍	1F <大壁部> 6.77倍 1F <大壁部> 6.09倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽7.0	7.0倍	<大壁部> 3.7倍 <真壁部> 3.3倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽6.6	6.6倍	<真壁部> 3.3倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽5.0	5.0倍	<大壁部> 2.5倍 <真壁部> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽5.0	5.0倍	<真壁部> 2.5倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽2.5	2.5倍	<大壁部> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽2.5	2.5倍	<真壁部> 2.5倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	

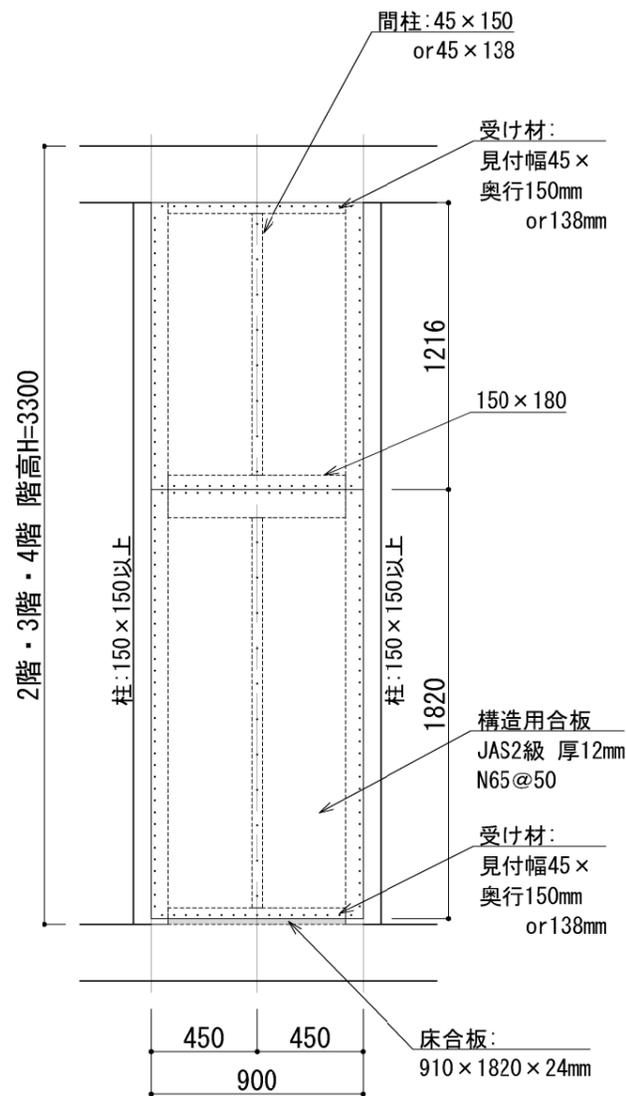
※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上 釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床勝・壁勝どちらにも対応可とする。

- 1時間耐火
- 壁合板 910×1820×12mm
- 基礎ハッキ 厚さ20mm
- 小梁タイプ
- 床合板 910×1820×24mm
釘：N75@150川型
釘：CN75@150日型、N75@150川型
- 野地合板 910×1820×12mm
釘：CN50@150川型
- KES120仕様
指定なき土台はW150×H120 (桧製材)
指定なき大引は90×90@900 (桧製材)
指定なき柱・小屋束は150×150 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
指定なき平柱の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
垂木は45×120@303.33 (杉製材)
ケラハ垂木45×120は軒先から@303.33 (杉製材)
ケラハ補強材は2-45×120 (杉製材)
3寸勾配は列ハッキ有り
ブレース V1-180×180 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V2-180×240 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V3-180×300 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V4-210×210 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V5-210×480 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V6-210×600 (唐松集成材対称異等級E95-F270)

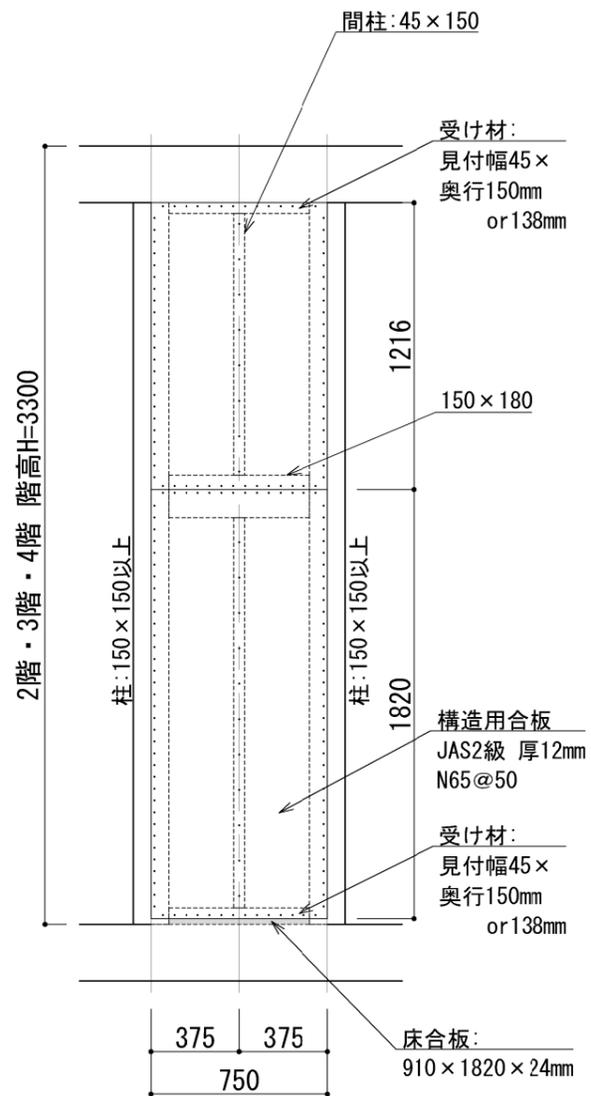
柱脚レベル詳細図 A1:1/15 A3:1/30



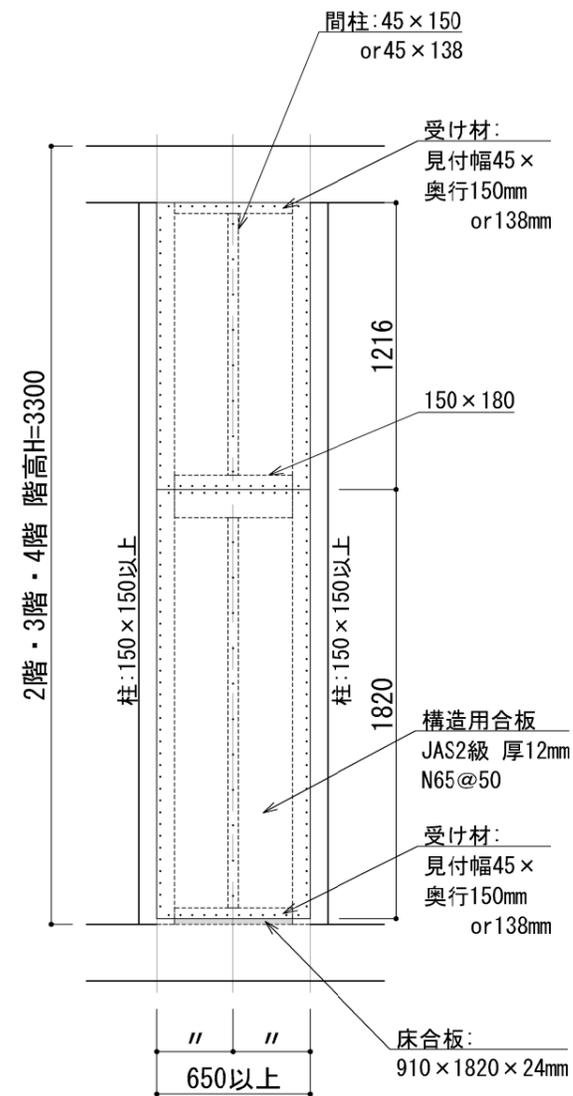
【BPL下端=GL+640】



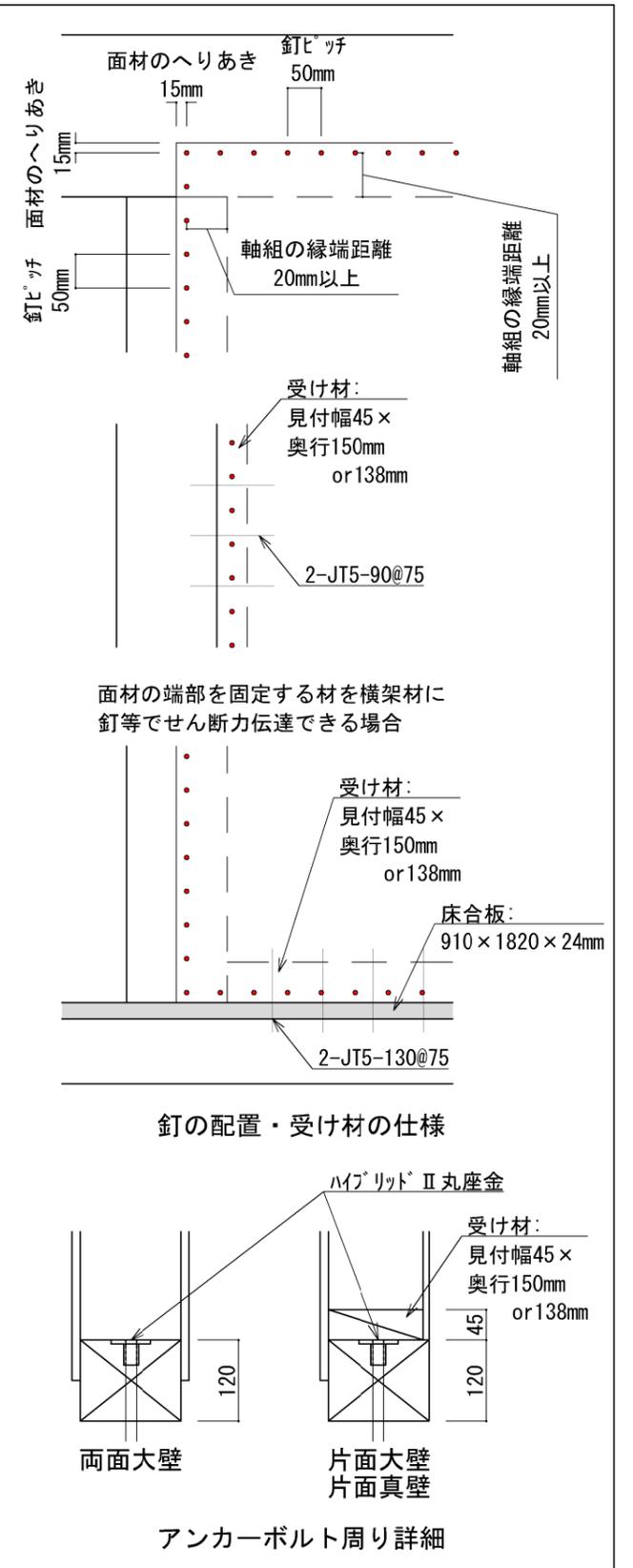
両面: 13.2倍
片面: 6.60倍
※6.60倍+3.3倍=9.9倍



両面: 12.2倍
片面: 6.09倍

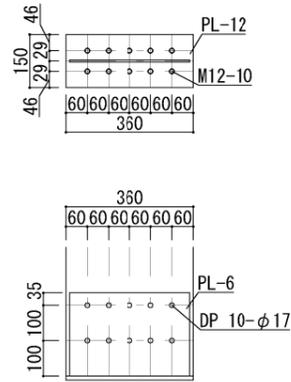


両面: 11.3倍(※該当無し)
片面: 5.66倍
※5.66倍+3.3倍=9.0倍



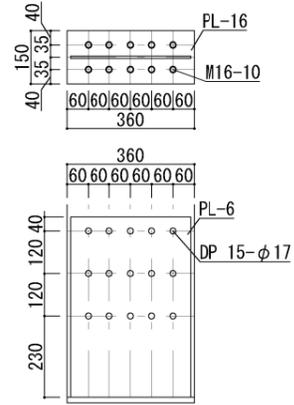
特記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS	管理建築士 一級建築士登録 275483	設計	製図	検印	設計NO.	名称	図面NO.
				株式会社 高橋建築設計事務所	高橋潤				階段 A 3:1/15 A 3:1/30	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事	S-35
										図面名 高耐力壁詳細図 2	

1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり



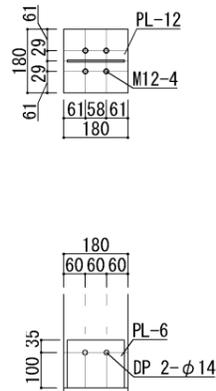
B1536a

1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり



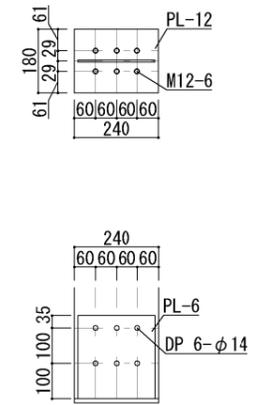
B1536b

1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり



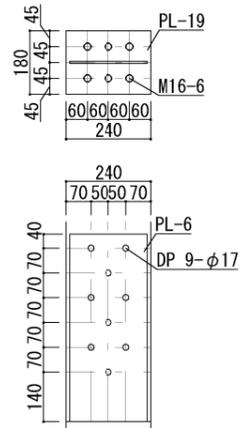
B18a

1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり



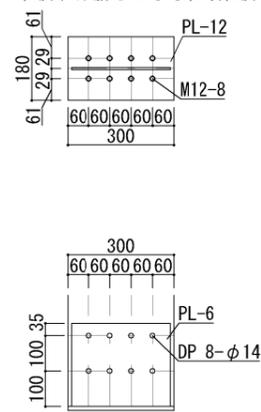
B1824a

1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり



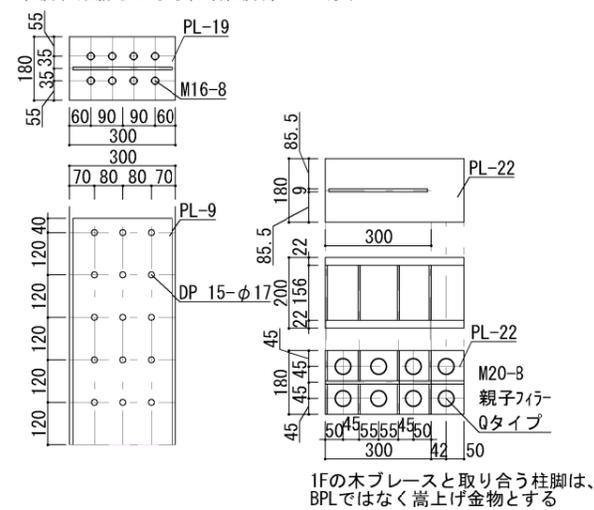
B1824b

1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり



B1830a

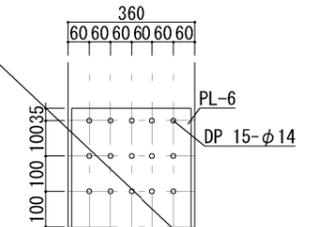
1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり



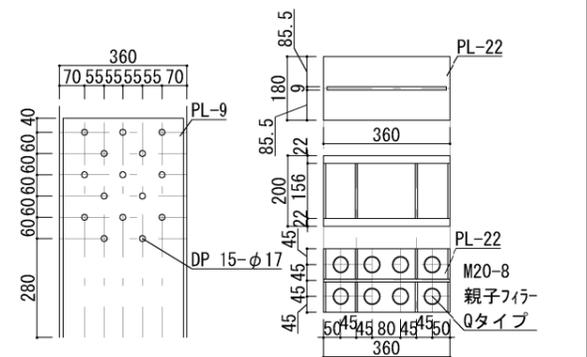
B1830b

1Fの木ブレースと取り合う柱脚は、BPLではなく嵩上げ金物とする

リブプレート 6mm



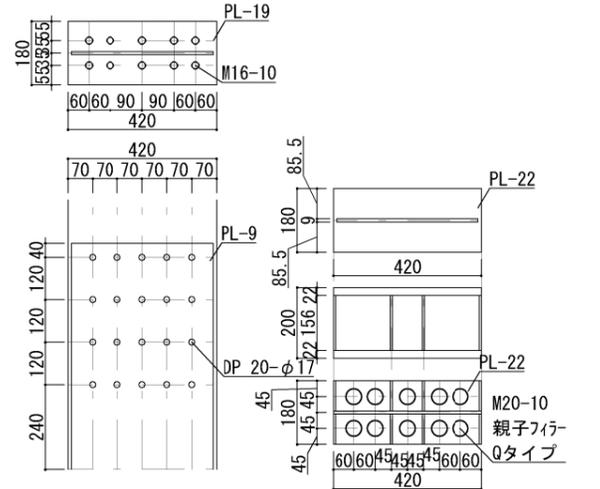
B1836a



B1836b

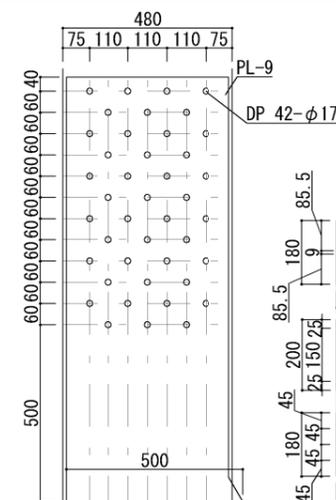
1Fの木ブレースと取り合う柱脚は、BPLではなく嵩上げ金物とする
リブプレート 6mm

1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり



B1842a

1Fの木ブレースと取り合う柱脚は、BPLではなく嵩上げ金物とする
リブプレート 6mm



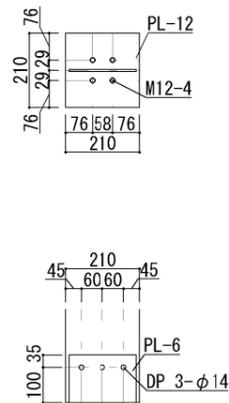
B1848a

1Fの木ブレースと取り合う柱脚は、BPLではなく嵩上げ金物とする
リブプレート 6mm

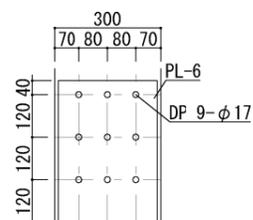
■ 共通事項

- ・ 接合部材の材質はSS400とする。
- ・ ここに示す接合部と同等以上の耐力を持つこと。
- ・ 各接合部において、施工上の納まりによるピン・ボルト寸法の変更、プレート形状の変更は可とする。
- ・ ただし、ピン・ボルトの間隔は「木質構造設計基準・同解説」の接合具配置の距離・間隔に準拠する。
- ・ 特記なき限り、部材両端の接合部は同じものを使用する。

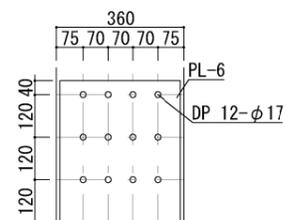
1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり



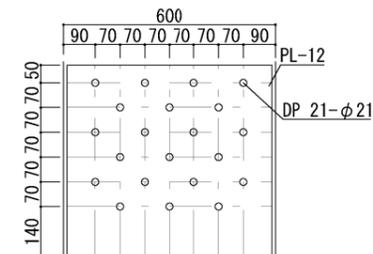
B21a



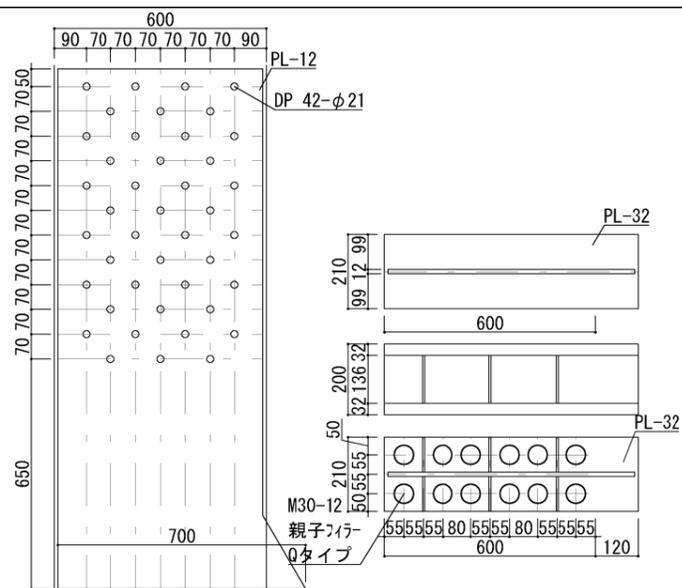
B2130a



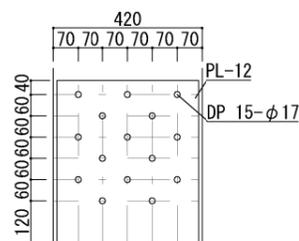
B2136a



B2160a

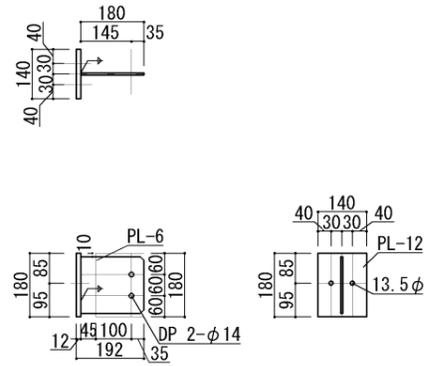


B2160b リブプレート 6mm

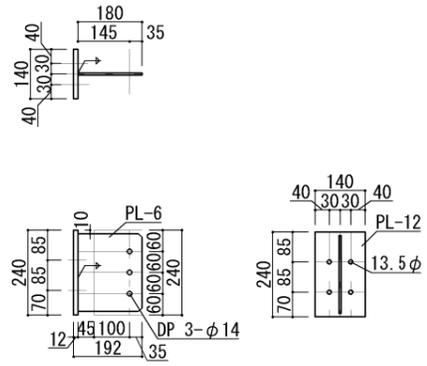


B2142a

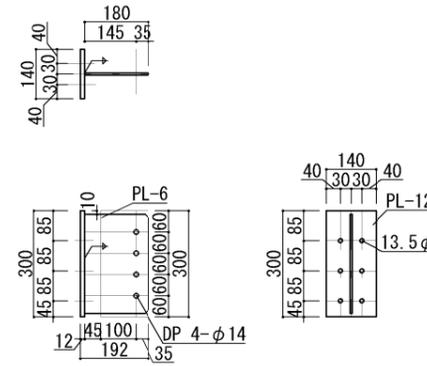
- 共通事項
- ・ 接合部材の材質はSS400とする。
 - ・ ここに示す接合部と同等以上の耐力を持つこと。
 - ・ 各接合部において、施工上の納まりによるピン・ボルト寸法の変更、プレート形状の変更は可とする。
 - ・ ただし、ピン・ボルトの間隔は「木質構造設計基準・同解説」の接合具配置の距離・間隔に準拠する。
 - ・ 特記なき限り、部材両端の接合部は同じものを使用する。



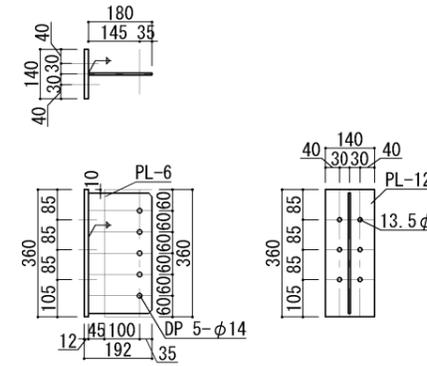
JM1518



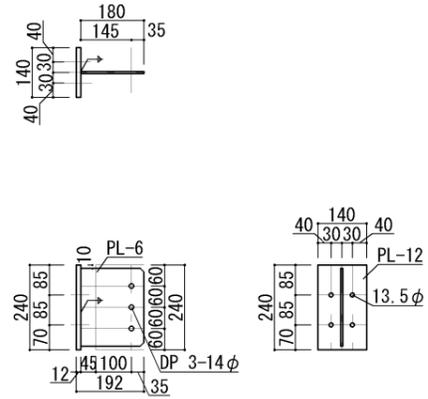
JM1524



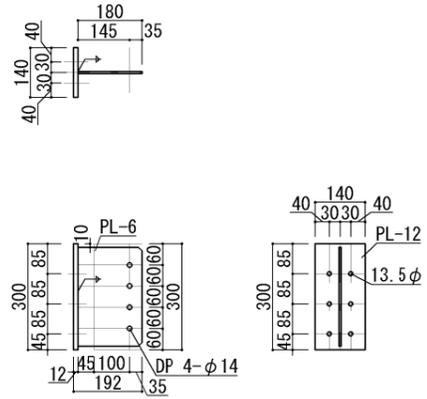
JM1530



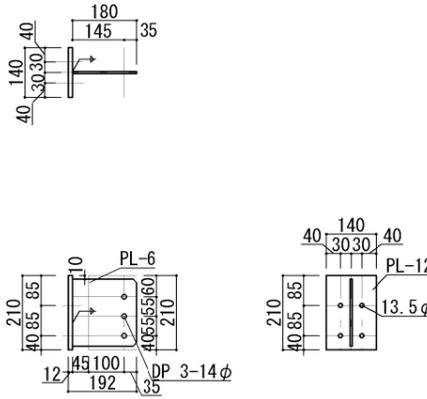
JM1536



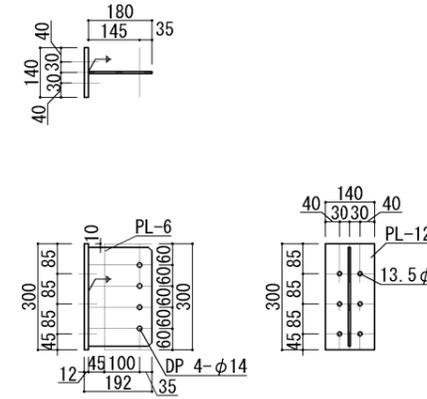
JM1824



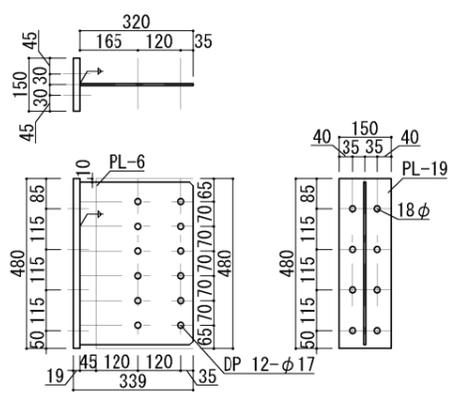
JM1830



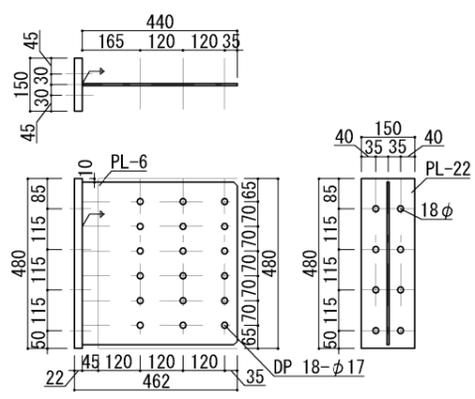
JM2121



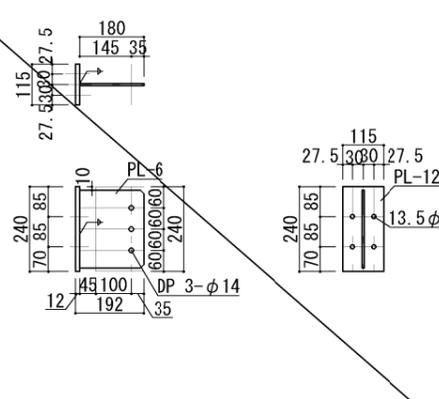
JM2130



JM2148a

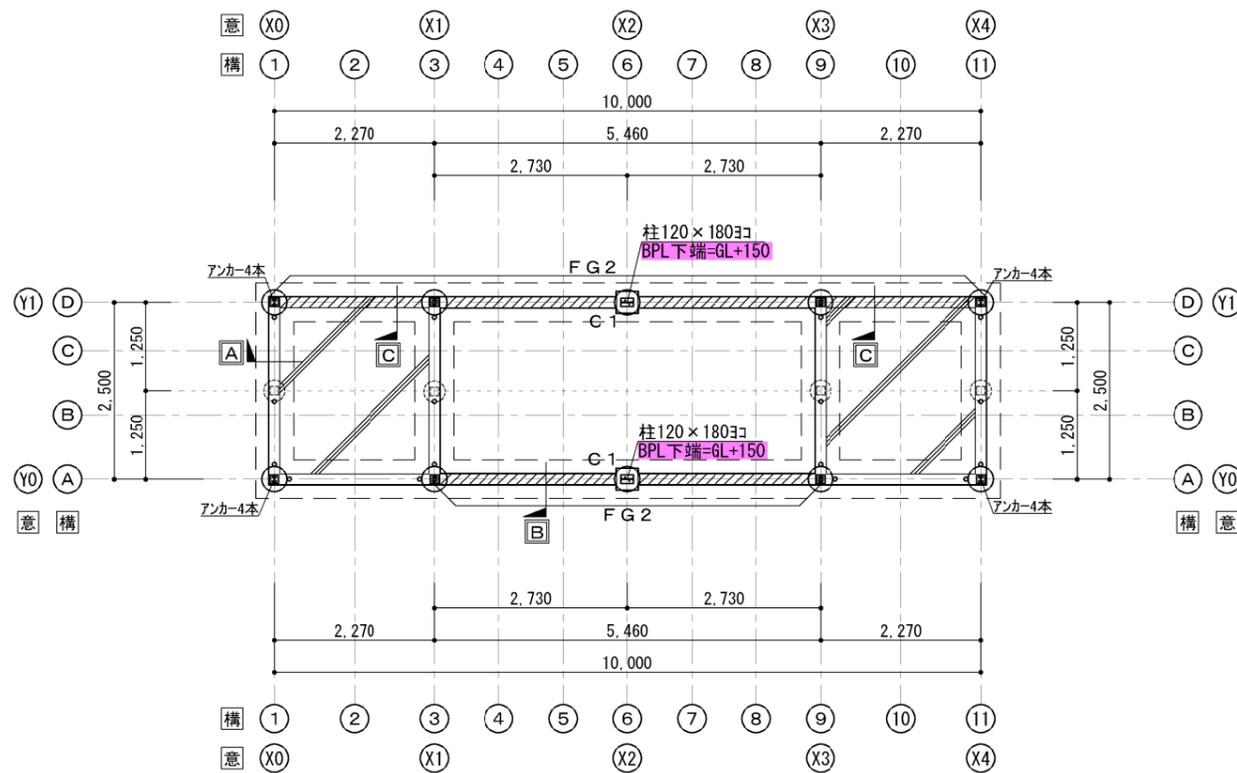


JM2148b



JM1224

- 共通事項
- ・ 接合部材の材質はSS400とする。
 - ・ ここに示す接合部と同等以上の耐力を持つこと。
 - ・ 各接合部において、施工上の納まりによるピン・ボルト寸法の変更、プレート形状の変更は可とする。
 - ・ ただし、ピン・ボルトの間隔は「木質構造設計基準・同解説」の接合具配置の距離・間隔に準拠する。
 - ・ 特記なき限り、部材両端の接合部は同じものを使用する。



※地耐力100KN/m²確保をお願いします。

基礎パッキン 厚さ20mm

基礎伏図記号凡例

⊕	柱脚コネクタの位置を示す
□	P柱位置を示す
○	土台用アンカーボルト
▨	土間 (土間天端GL+150)
▩	地中梁

土台下に基礎パッキンt=20mm使用
 基礎梁外周面は芯から85mm (75mm+10mm) とする
 特記なき土間はS1とする。
 特記なき基礎梁はFG1とする。

- 土台用アンカーボルト [M12 L450] 16本
- コネクタ用アンカーボルト [M12 L450] 28本

現場送りコネクタ	アンボルト	個数
B120コネクタ	2-M12	4
	4-M12	4
特殊コネクタ (120x180用)	2-M12	2

※コネクタは建て方の前日までに必ず基礎にセットして下さい。

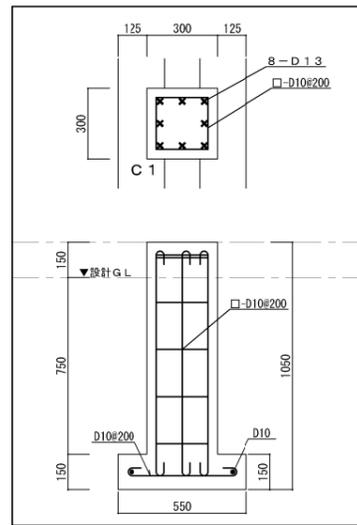
基礎梁リスト

記号	FG 1	FG 2
1x3	150(b) x 160(D)	150(b) x 900(D)
断面		
上端主筋	1-D13	2-D13
下端主筋	1-D13	2-D13
STP	D10@200	D10@200
腹筋	4-D10	2-D10
巾止の筋		

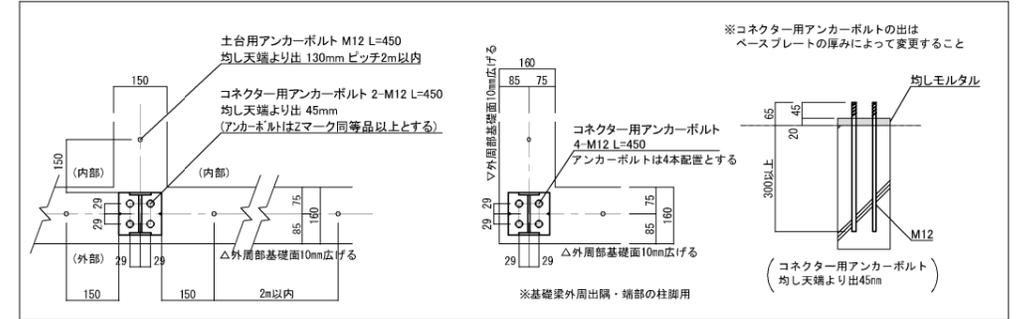
土間リスト

S 1		長辺・短辺方向 D10@200
-----	--	--------------------

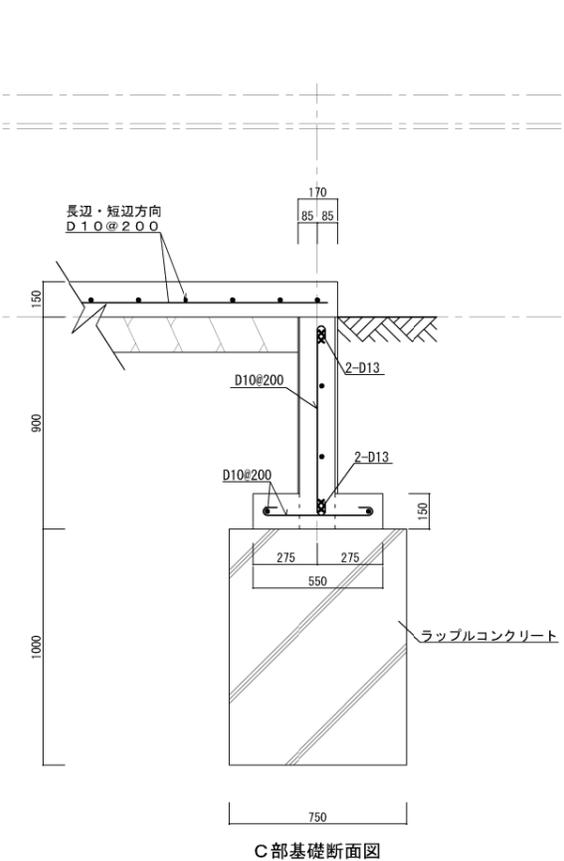
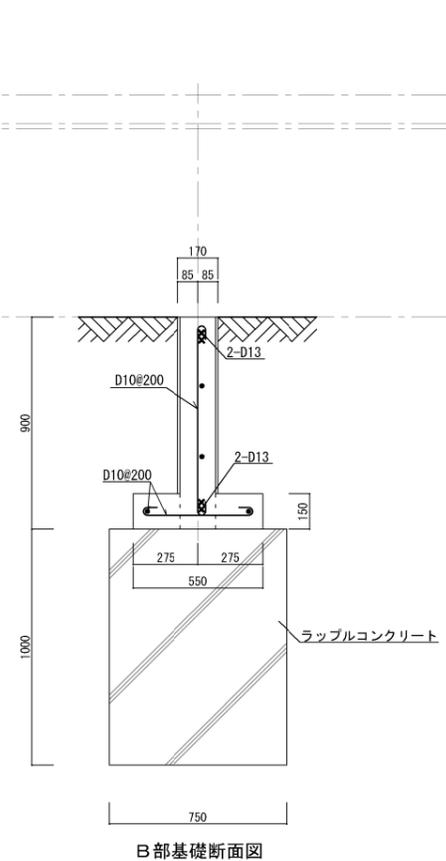
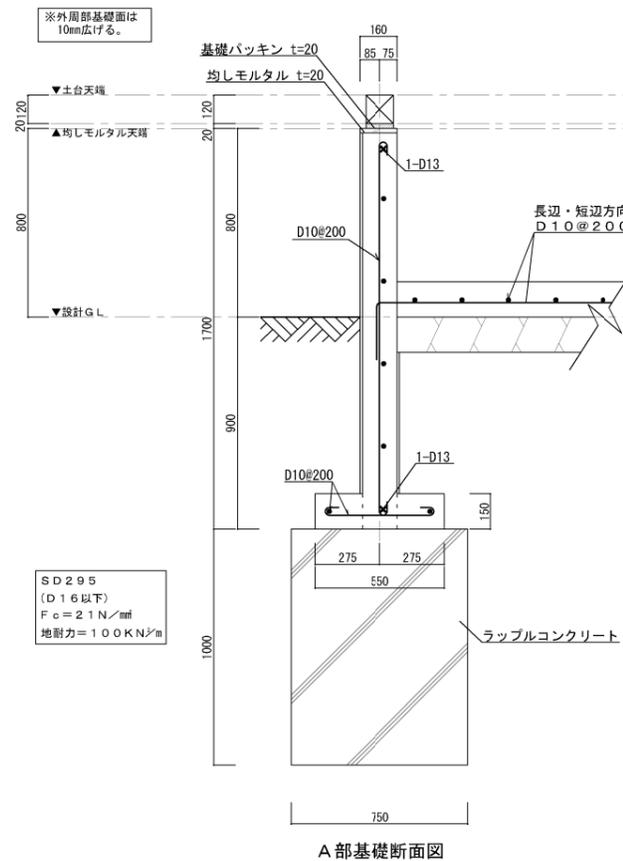
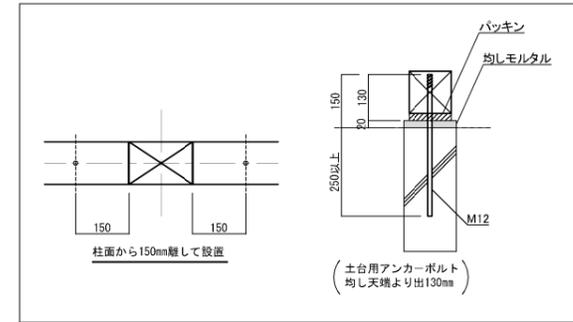
柱型配筋図



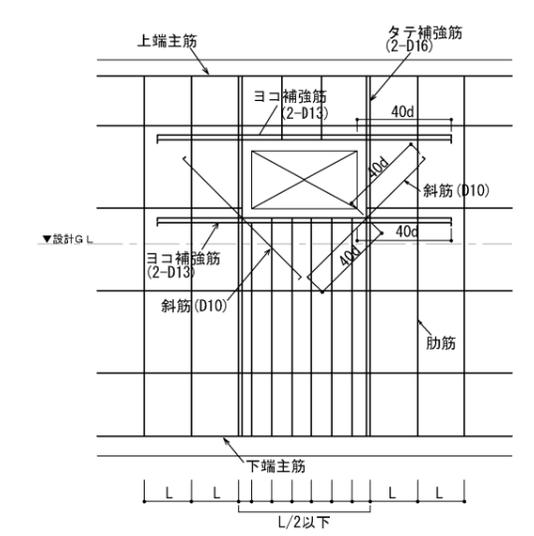
【アンカーボルト配置図】

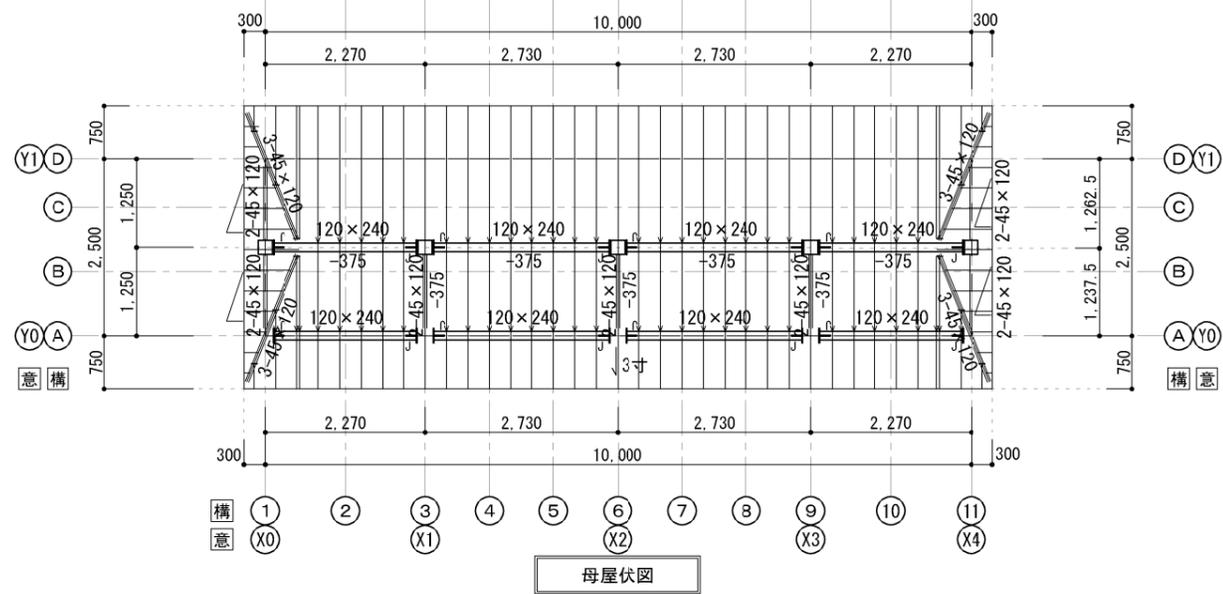
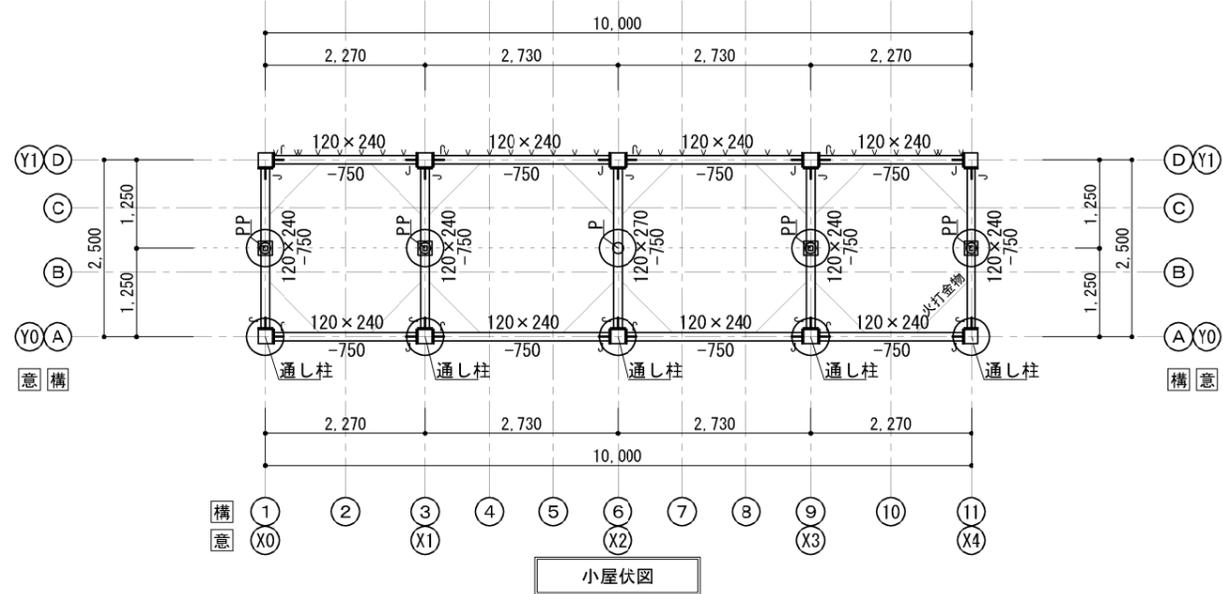
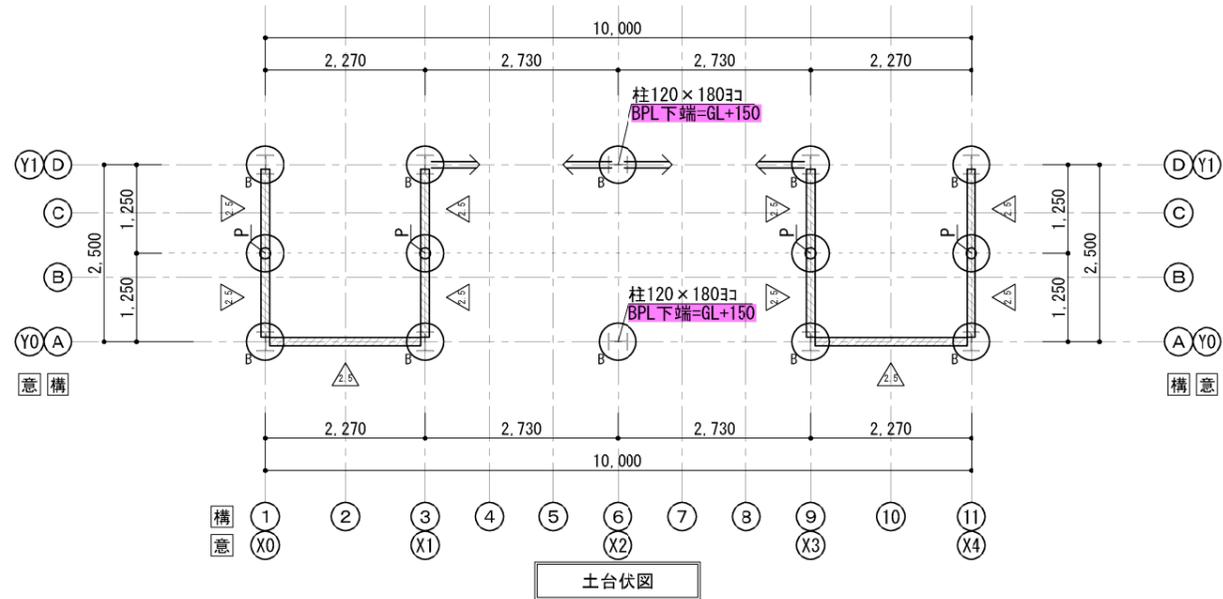


【土台用アンカーボルト設置位置】



【開口補強配筋図 (排気ガラリ)】





1F階高：2610.0

- 壁合板910×1820×9mm
- 基礎パッキン 厚さ20mm

KES120仕様
土台は120×120(桧製材)
指定なき柱は120×120(唐松集成材対称異等級E95-F270)
→ は方杖120×120(唐松集成材対称異等級E95-F270)

1F階高：2610.0

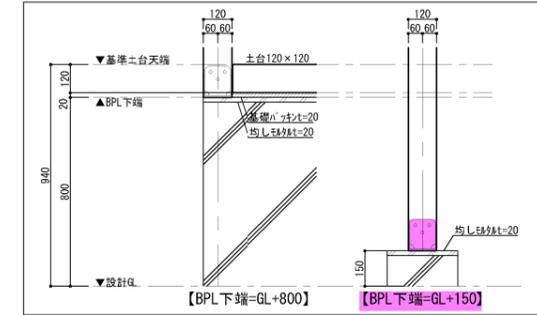
KES120仕様
指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
小屋束は120×120(唐松集成材対称異等級E95-F270)
ビス止め火打ち金物は認定金物

1F階高：2610.0

- 野地合板910×1820×12mm

KES120仕様
指定なき母屋の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
垂木は45×120@303(杉製材)
ケラバ垂木45×120は軒先から@303
外パッキン有り
頭つなぎ材は2-45×120(杉製材)

柱脚レベル詳細図 A1:1/15 A3:1/30



非耐力壁の面材釘ピッチ

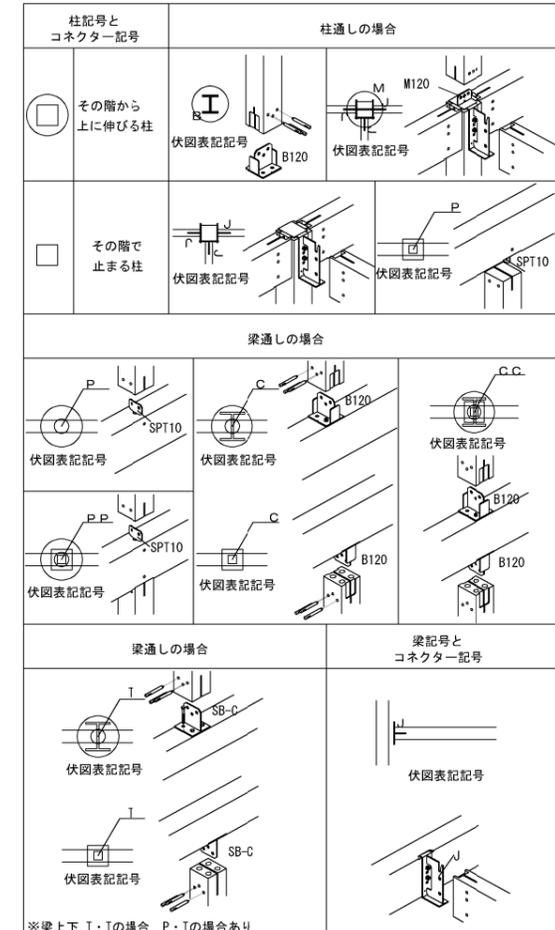
材料	釘	ピッチ
構造用合板	N50	@200程度
石こうボード	GNF40またはGNC40	@200程度

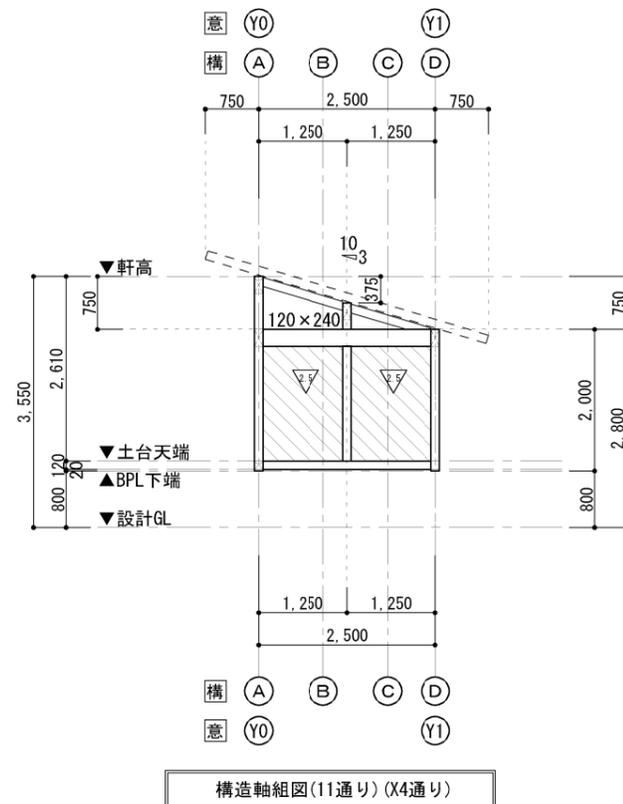
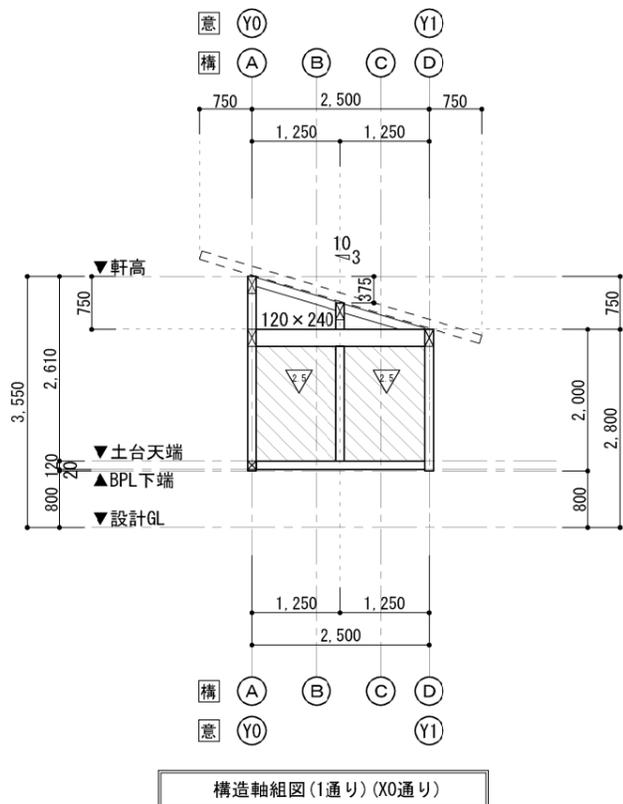
耐力壁凡例

凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
△2.5	2.5倍	<大壁側> 2.5倍(合板)	構造用合板 9.0mm 又は 構造用パッキン (OSB) 9.0mm	外周部・中通り CNG50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@200mm以下	構造用合板 9mm 又は OSB 9mm

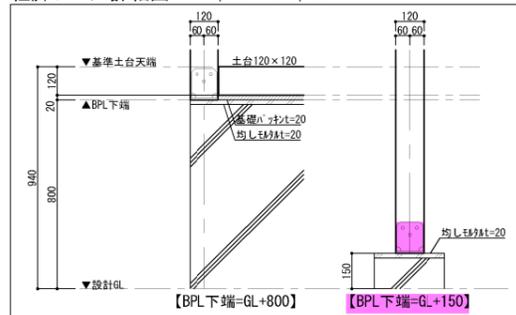
※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上 釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床勝・壁勝どちらにも対応可とする。

KESコネクター凡例





柱脚レベル詳細図 A1:1/15 A3:1/30



非耐力壁の面材釘ピッチ

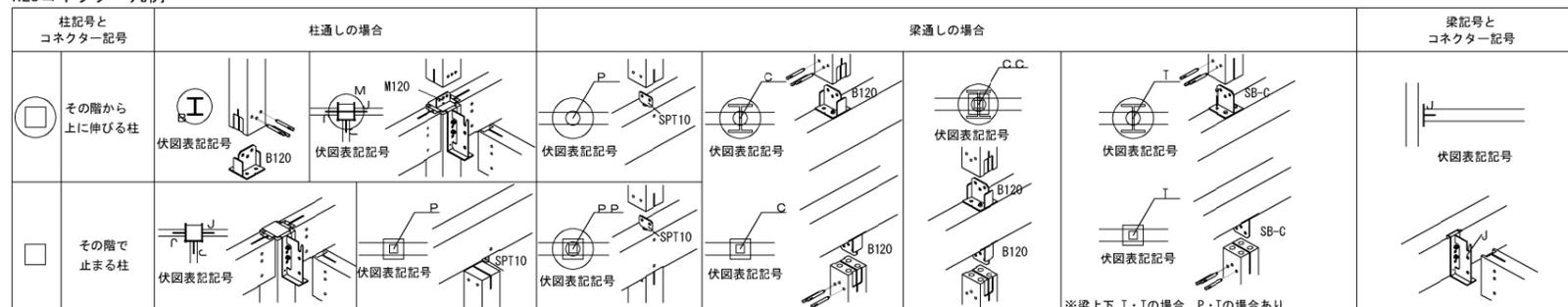
材料	釘	ピッチ
構造用合板	N50	@200程度
石膏ボード	GNF40またはGNC40	@200程度

耐力壁凡例

凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
2.5倍	2.5倍	<大壁側> 2.5倍(合板)	構造用合板 9.0mm 又は 構造用パネ(033) 9.0mm	外周部・中通り CNE08(150mm以下) 受材45mm×60mm以上 N90(200mm以下)	構造用合板 9mm 又は SB-9mm 石膏ボード

※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上 釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床勝・壁勝どちらにも対応可とする。

KESコネクター凡例

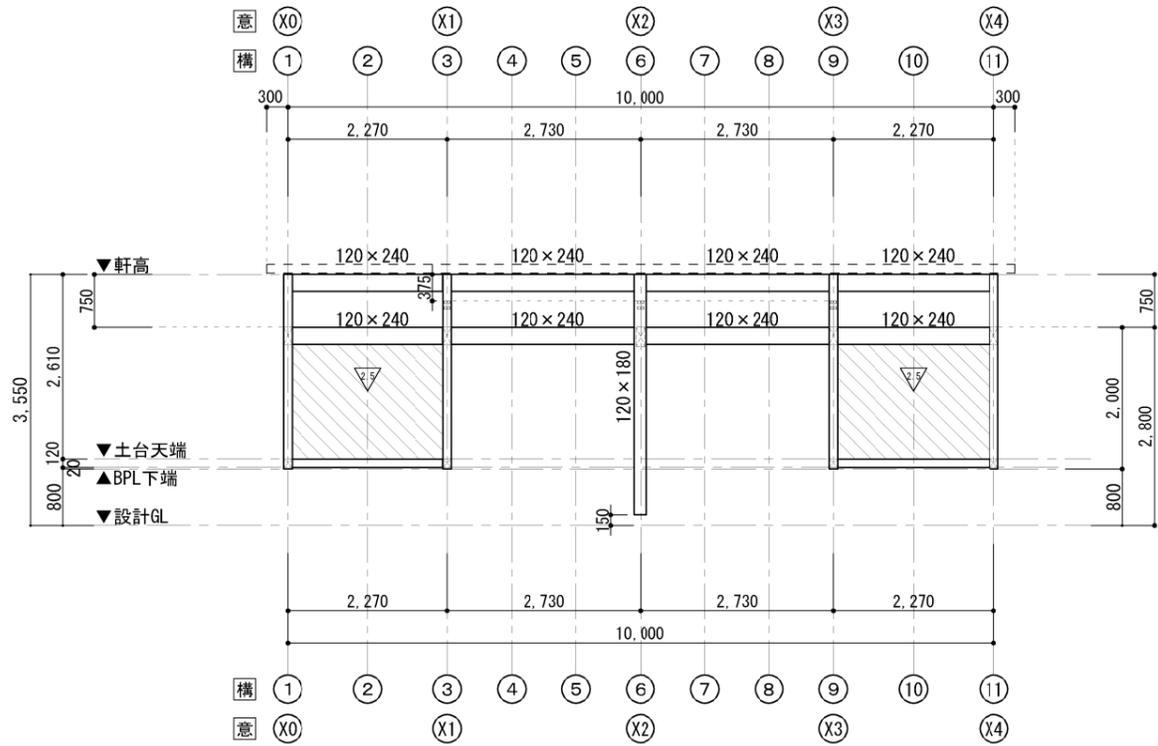


1F階高：2610.0

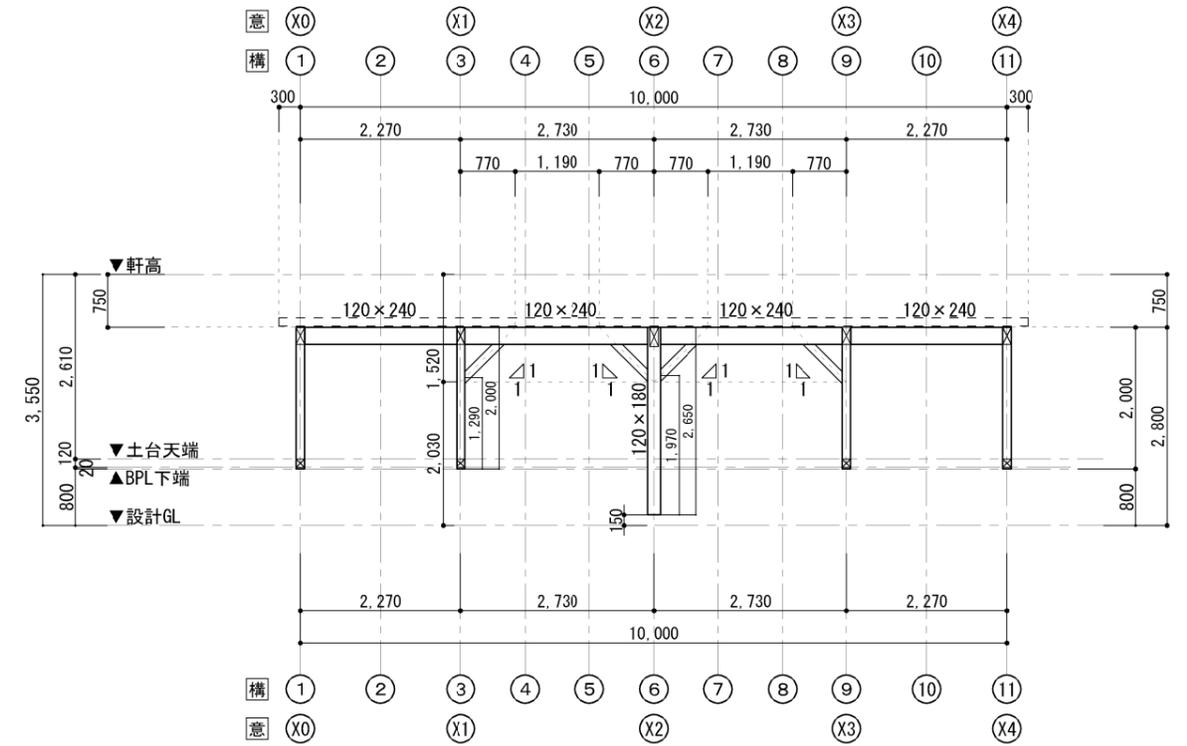
- 壁合板910×1820×9mm
- 基礎パッキン 厚さ20mm
- 野地合板910×1820×12mm

KES120仕様

土台は120×120 (桧製材)
指定なき柱は120×120 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
方杖は120×120 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
小屋束は120×120 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ビス止め火打ち金物は認定金物
指定なき母屋の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
垂木は45×120@303 (杉製材)
ケラパ 垂木45×120は軒先から@303
列キパ ッキン有り
頭つなぎ材は2-45×120 (杉製材)

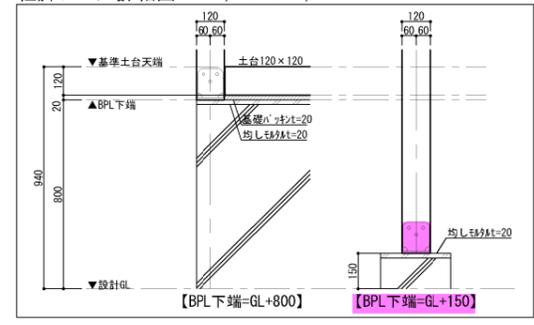


構造軸組図(A通り)(Y0通り)



構造軸組図(D通り)(Y1通り)

柱脚レベル詳細図 A1:1/15 A3:1/30



非耐力壁の面材釘ピッチ

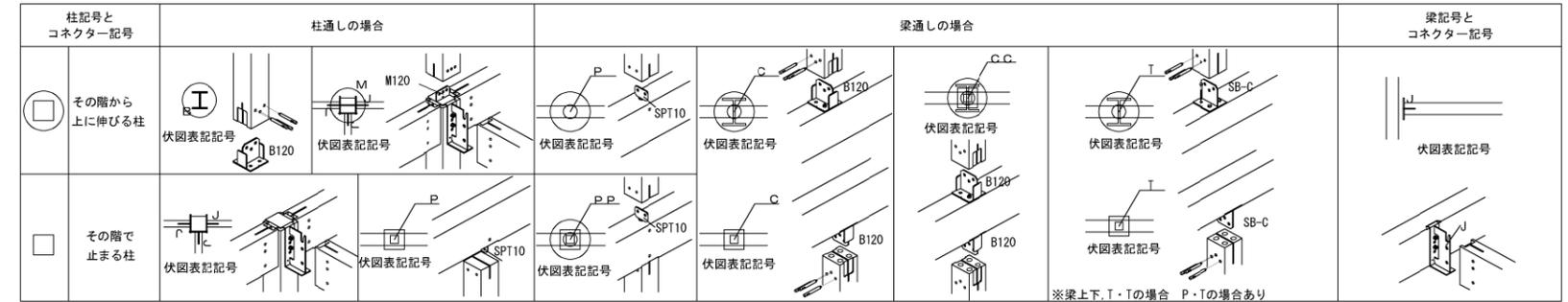
材料	釘	ピッチ
構造用合板	N50	@200程度
石膏ボード	GNF40またはGNC40	@200程度

耐力壁凡例

凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
	2.5倍	<大壁側> 2.5倍(合板)	構造用合板 9.0mm 又は 構造用パネ(OSB) 9.0mm	外周部・中通り CNS08150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90/200mm以下	

※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上 釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床勝・壁勝どちらにも対応可とする。

KESコネクター凡例

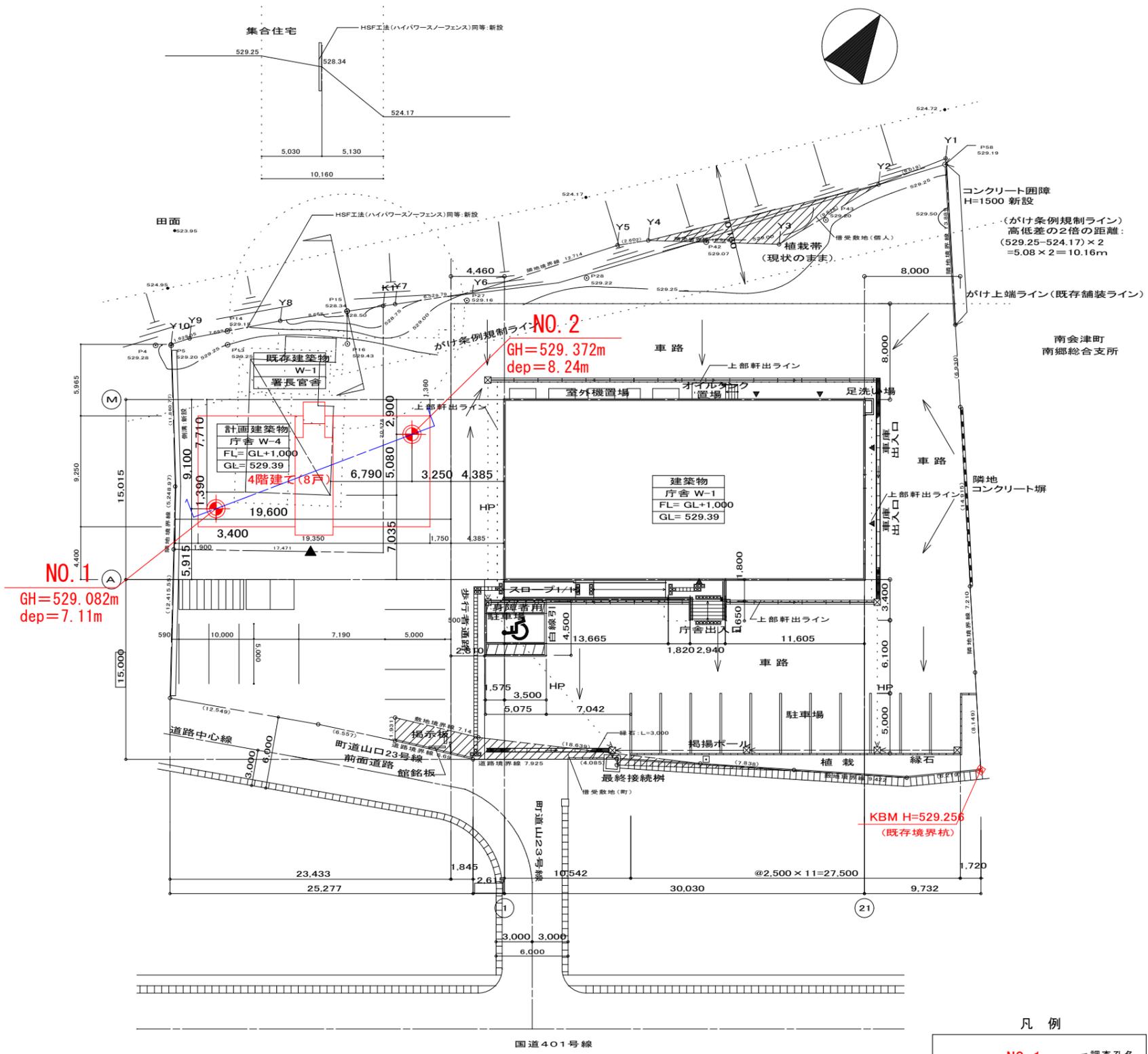


1F階高：2610.0

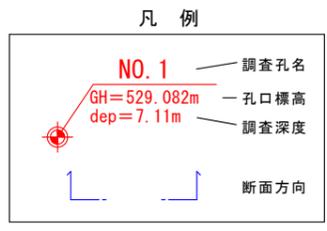
- 壁合板910×1820×9mm
- 基礎パッキン 厚さ20mm
- 野地合板910×1820×12mm

KES120仕様
土台は120×120(桧製材)
指定なき柱は120×120(唐松集成材対称異等級E95-F270)
方杖は120×120(唐松集成材対称異等級E95-F270)
指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
小屋束は120×120(唐松集成材対称異等級E95-F270)
ビス止め火打ち金物は認定金物
指定なき母屋の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
垂木は45×120@303(杉製材)
ケラバ 垂木45×120は軒先から@303
列キパッキン有り
頭つなぎ材は2-45×120(杉製材)

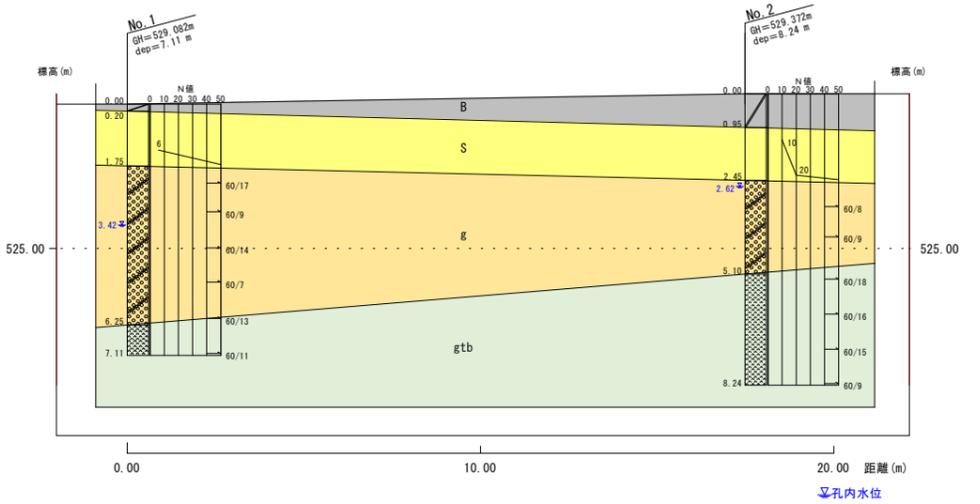
(がけ条例規制ライン)
高低差の2倍の距離:
(529.25-524.17) × 2
= 5.08 × 2 = 10.16m
がけ条例規制ライン



地質調査位置平面図 S=1/200(A1)



地質想定断面図 S=1/100(A1)



地質層序表						
地質年代	地層名	記号	主な層相	層厚(m) (平均値)	N値(回) (平均値)	記事
第四紀 更新世	盛土	B	岩片混じり土	0.2~0.95 (0.58)	-	岩片、礫を多く混じる土砂
	砂質土	S	細中砂	1.5~1.55 (1.53)	6~20 (12)	粒子概ね均一な細中砂主体。全体的に細粒分(粘土、シルト)をやや多く混じる。礫を少量点する。含水中位。
	礫質土	g	玉石混じり土	2.65~4.50 (3.58)	100~257 (179)	φ2~50mmを超える硬質な垂円礫、玉石主体の洪積層。玉石は、花崗岩類、ホルンフェルス等でコア径は、50~290mm前後。
新第三紀 鮮新世	基盤岩	gtb	風化凝灰岩 凝灰岩	0.86 ~3.14以上	113~200 (139)	風化した砂質泥岩、砂岩、泥質砂岩が互層状をなす。固結度低く全体的に脆い。

設計図書 別紙

1. 前払金は各会計年度の出来高予定額の $4/10$ 以内とする。
2. 前項の規定にかかわらず、契約会計年度に翌会計年度分の前払金を含めて支払うことができる。